しながわワクワク新聞 第152号

発行日：
平成30年5月1日（火）
発行者：
若林ひろき 品川区議会議員

ちょっといい話

僕は全員に「バッドニュースファーストだ」と言っているんです。最悪なのは悪い知らせを自分だけで抱え込むこと。役割に関係なく、悪い内容は全部伝えてくれ、それも僕に話してくれ、と言っています。そして、世の中にオープンにしないと悪い所は完全に直りません。（ファーストリテイリング会長兼社長・柳井正さん）

僕はもともと、相当負けん気が強いんですが、それでも気持ちが折れそうになることは数えきれないほどありました。でも周囲が自分を信じてくれた。それがどれほど若い人の支えになるか、大人は気づいてほしいですね。（北島康介さん）

高校在学応援資金の概要

今年度から始まる事業です。高校進学に経済的理由で就学が困難な方に奨学金をお貸しし、卒業以降の返還を免除等します。

【1】貸付の対象＝①授業料、教材費、修学旅行費等②夏期講習費、部活動費等

【2】予定額＝在学期間中最大60万円

【3】申込期間＝第一回6月1日～29日　第二回10月1日～31日

※広報しながわ5月11日号、9月11日号に掲載予定

区民活動助成が決定

公益活動に取り組む団体に、区地域振興基金を活用し資金を助成しています。応募18事業を審査し、15事業が決定しました。

◆品の輪講演会「健康講話」…リハビリテーションの増進、充実を目指し、理学療法士等の講演会を開催。

◆生活に役立つスマホの活用法…65歳以上のシニア、視覚障がい者を主な対象に、スマホ講習会を実施。

◆落語ミュニケーションin品川…子どもたちが落語を通じ自国文化に親しむことを目指し、落語会・鑑賞会・落語ワークショップを開催。

◆育児交流サロン…育児に向き合う母親の孤独感・閉塞感を和らげるため、サロンを開催し、保育スペース完備のスタジオで育児のお話会やピアノ生演奏の鑑賞を実施。

◆キッズわくわくワークショップ…小学生の親子を対象に、将来の夢を考えるワークショップやプログラミング演習。

◆品川宿いどばた…親子向け講座・食堂運営・情報発信等を行う産後ママの交流の場を運営。

まもるっちリニューアル

機器の老朽化やソフト更新のため、機能を充実し新機種が導入されます。仕様は、新まもるっち3で、タッチパネル方式になります。また、いじめ相談窓口「ハーツ」へ無料通話できます。今年度は、新一年生等に配布・交換。

訪問型の産後ケア

産後の母親をサポートするため日帰り型（ホテルを利用し、母体ケアや育児相談に助産師対応）、宿泊型（医療機関に宿泊）が行われていますが、今年度から訪問型も開始します。自宅に助産師が訪問し、乳房ケアや授乳指導・育児相談を行います。

※広報しながわ4月21号「子育て支援特集号」に問合せ先などが掲載されています。

カラスの威嚇や攻撃に困っていませんか？

カラスは繁殖期（およそ3月下旬～7月上旬）になると、巣を作り、子育てを行います。そのため、この時期の親カラスは自分のヒナを守るために、巣や巣から落ちたヒナの近くを人が通ると威嚇したり攻撃することがあります。

●カラスに威嚇・攻撃されないためには…

①巣やヒナを避けて歩き、カラスを刺激しない。

②カラスは後ろから頭をめがけて攻撃してくるので、傘や帽子で頭を守る。

③羽の接触を恐れるので、傘など棒状のものを頭の上にあげる。

威嚇など激しい場合は、総合窓口までご相談ください。

●カラス・外来種総合窓口

☎3777－1157

【問合せ】

環境課 指導調査係

☎5742－6751

私の本棚

「書く力」（池上彰・竹内政明／朝日新書）その8

文章がうまくなるためには、沢山の本を読むことが必要なんでしょうね。「自分はなぜこの本を好きだと思ったのか」を自分なりに分析してみる。中学一年生の時に読んだ、ゴーゴリの「検察官」という戯曲が心に引っかかったんです。たまたま旅行である地方都市に立ち寄った主人公は検察官に成りすまそうと思っているわけではないが、周りの人たちが勝手に主人公のことを検察官だと勘違いして、一生懸命に接待するという話です。当時、どんな分析をしたのか忘れてしまいましたが、こうした行動の積み重ねが、今の自分の原稿書きの栄養分になっているんですね。

小泉進次郎さんは、演説の勉強をするために、片っ端から落語を聞いているそうです。枕の作り方や間の取り方を覚えているんですね。彼の演説がうまいのは、そういう研究の結果なんです。（つづく）